

「中央区の森」が 広がっています

檜原村の数馬地区には「中央区の森」があります。2006年度からスタートし、約37.4haの森林で間伐や下草刈りなどの森林保全活動が行なっています。森林を守り育てることで、二酸化炭素(CO₂)を吸収するという森林の働きが十分にいかされるようになり、地球温暖化防止に役立っています。2012年度からは檜原村の南郷地区にも「中央区の森」を広げ、森づくりをはじめました。



中央区を花と緑の都に



建物が多い中央区では、公共施設の屋上や壁面の緑化をすすめるだけでなく、民間のビルやマンションなどにも緑を増やす支援をしています。また、区民の皆さんや区内で働く方と一しょに、「緑のアダプト制度」と呼んでいるボランティアの花壇づくりも進め、花と緑がいっぱいの中央区をめざしています。



「中央区子ども環境サミット2012」



中央区では、未来を担う子どもたちが環境学習をとおして、地球規模で考え、足下から行動できるよう「子ども環境サミット2012」を開催しました。中央区内の公立・私立の全中学校から2年生486名が銀座プロッサムホールに集い、第一部では、JAXAの高橋陪夫先生と国立極地研究所の本吉洋一先生から特別授業を受け、第二部では、各校の生徒代表が研究してきた環境学習の成果とメッセージを力強く発表し、これからの取り組みの決意を新たにしました。